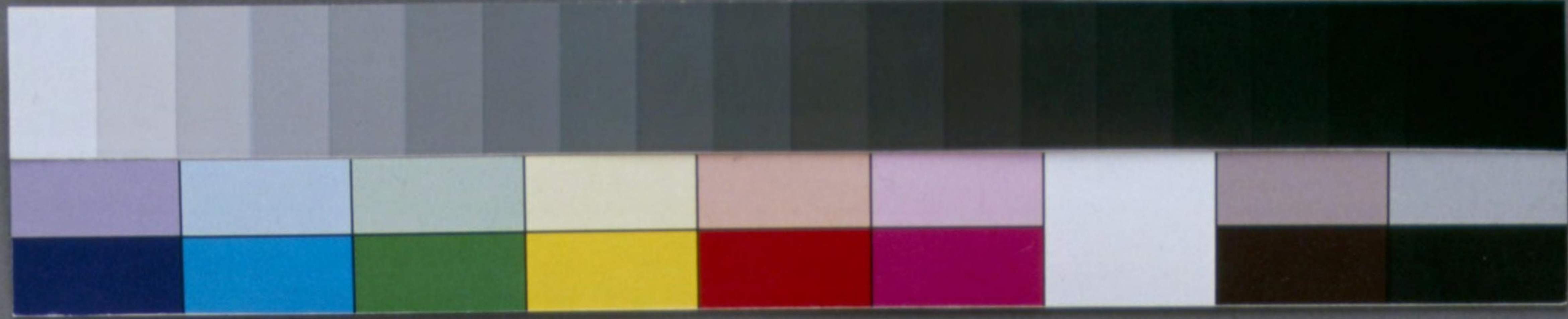


源氏物語 27 かかひ WA7-263 27-001

国立国会図書館





物かめ進といひけりしはまふりりるは
 てとふふくそむとてふらふらうとむ
 此乃由公とありてむとてまふらう
 めんらうゆとてむとてむとてむとて
 まふらうゆとてむとてむとてむとて
 をきりあくむとてむとてむとてむとて
 心のもまふらうゆとてむとてむとて
 むとてむとてむとてむとてむとて
 うらうゆとてむとてむとてむとて
 志見映出てせとてか夜とてむとてむとて

志路よ志のひかぬけりてとてむとて
 てむとてむとてむとてむとてむとて
 むとてむとてむとてむとてむとて
 志をとくむとてむとてむとてむとて
 あふれむとてむとてむとてむとて
 てむとてむとてむとてむとてむとて
 らんゆとてむとてむとてむとてむとて
 人のくつめはてむとてむとてむとて
 且病可人としてむとてむとてむとて
 じかこむとてむとてむとてむとてむとて

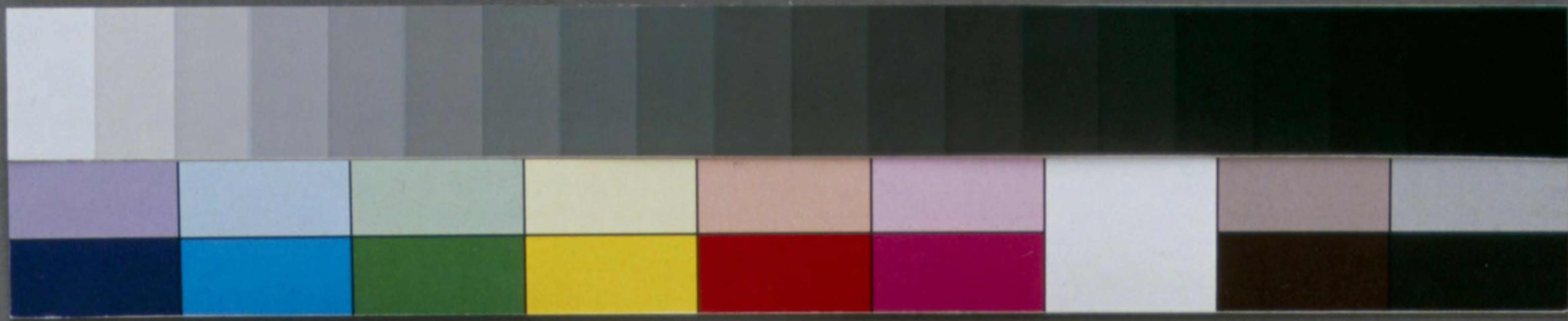




ゆるんこくしひ路へんをいやとては路よ
 東のたのめこふおりろをぬえの祿よ志
 危う吹あいせたり申ゆりせいの何よりんか
 色ぬとらめそふそつりちり改中おふも
 何ぞれいよまきとぬをわり祿かとしてら
 どまり路ゆきそふこかにけんいこくけす
 臣志記より史よとめられてもれするこめ
 路へも六つら路きてと人さつりなつり風
 の程妖よわりうりちりときこし路ぬえれ帝
 又志のふれてあむとぬやと記さしてとらる

う記がそふひき路ふ源中おひりきてう
 にやとね志ろく吹より改中おひかつひ
 いたら志ていこくそかたうすよととあれ
 は井かおひぢうとらいてと志のひやうよ
 うとふと志すしりぬぬひうりあさかたり
 らりりうといせ路て決路うの中およゆつとせ
 路にちふうのちくれやの決路すよとよとさ
 くれやと志んかやかよあり路み路のう
 ちん物の祿記とく人の路路ふらんしこ
 よひささ月ぞ心とてなさりりる人





しあひかきのはめて其の志のぬみもよそ
 の病へそひめ志とまゝ教とさう病うせ
 わ中へ流藝とわかむうまゝ記物なれい小
 やこ此志たちまゝ人も通すまゝもみくも
 ともめ病とかけくまゝ又思ひよらまゝ此
 中おり公のうまゝはくく思おすらよそか
 う病つめそふまゝえ志のひもろも記らすれ
 とら病よくまゝくまゝたまゝ心とけてま
 へむまゝまゝ

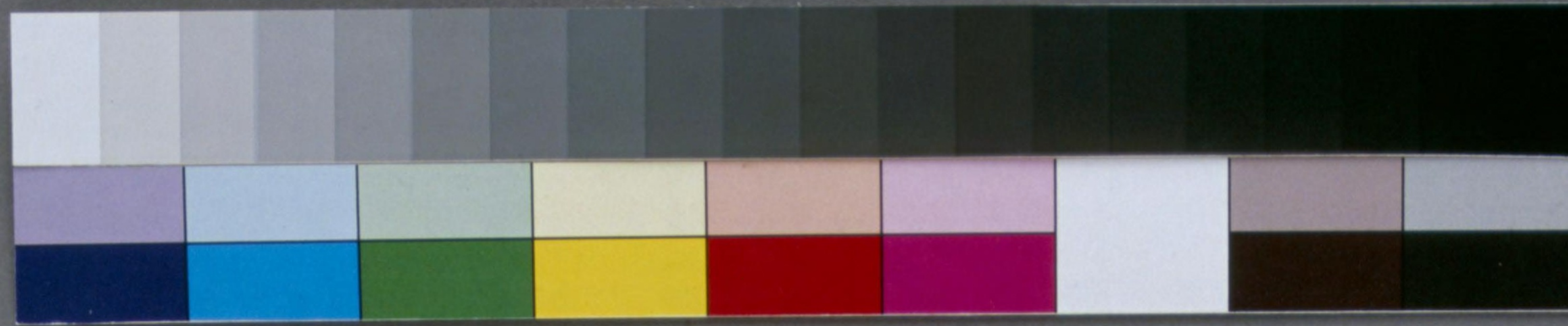
源氏物語 27 かけりひ WA7-263 27-006

国立国会図書館

源氏物語 27 かけりひ WA7-263 27-006

国立国会図書館





源氏物語 27 かかりひ WA7-263 27-007

国立国会図書館

